

(様式1)

環境配慮検討書

平成21年5月26日

三重県環境調整システム推進会議 部会長 様

三重県警察本部警務部会計課長

三重県環境調整システム推進要綱第4条の規定に基づき提出します。

対象事業の名称	(仮称)鳥羽市警察署 警察工事	
連絡先	担当室又は課所名	三重県警察本部警務部会計課
	担当室又は課所名	三重県 県土整備部 営繕室 建築グループ

1 事業の計画の名称、目的及び内容

(1)名称	(仮称) 鳥羽警察署 新築工事	
(2)目的	現在の鳥羽警察署が耐震診断の結果、耐震上問題があり、別地に新築整備を行う。	
(3)事業主体	三重県警察本部、三重県県土整備部	
(4)計画内容	①計画地の位置 ※位置図を添付すること	三重県鳥羽市松尾町篠本地内 ※位置図参照
	②建物・施設等の概要 (用途、規模、面積、配置等) ※配置図を添付すること	①警察庁舎 RC造地上3階 延床面積 2940㎡ ②署長公舎 木造平屋 90㎡ ③附属棟 1～3 ※配置図参照 ④身障者駐車場上屋、通路屋根、駐輪場 ※配置図参照
	③用水の使用計画	・無し
	④エネルギーの使用計画	・電気、プロパンガス、軽油（自家発電設備用）
	⑤雨水、汚水の排水計画	・雨水：敷地内に雨水流出抑制700m3分を貯留。 最寄りの排水溝へ接続 ・汚水：浄化槽設置し、最寄りの排水路へ接続
	⑥道路・交通計画	・接道は国道167号線のみ（車両乗入れは2ヵ所）
	⑦工期	ア)着工の予定時期 イ)完工及び供用開始の予定時期
(5)関連事業計画	・当該敷地の地盤改良工事、造成工事	
(6)その他	・特になし	

2 計画地の社会的条件の現況等

(1)計画地の社会的条件の現況	①交通の現況	・計画地は、鳥羽市と志摩市を結ぶ幹線道路である国道167号線に面している。観光シーズンは、比較的交通量が多い。
	②土地利用の現況	・田畑（休耕地）である。
	③水域利用の現況	・計画地内にはなし。
	④生活関連施設の現況	・計画地内にはなし。
(2)関係法令等による地域の指定・規制状況	①自然環境保全地域等の指定状況	自然環境保全地域（地区）、自然公園地域（区域）、鳥獣保護区の指定状況 ・計画地は、伊勢志摩国立公園普通地域に位置する。
	②土地利用規制の現況	都市計画法、農業地域振興法、森林法等の規制状況 ・計画地は、都市計画区域外である。 ・農業振興地域内農用地 平成20年9月26日公共施設設置についての協議書を提出し、平成20年11月6日農業委員会の承認済

3 計画地の自然的条件の現況

(1)地形・地質	文献調査	文献名			
	現地調査の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無 (実施日時2008年11月4日)	聴取調査の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	調査結果等	計画地は加茂川流域の谷底平野部で、地質は礫・砂・泥等の未固結の河床堆積物で、土壌は細粒灰色低地土壌、灰色低地土である。			
(2)水象	文献調査	文献名	平成19年度三重県環境白書		
	現地調査の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無 (実施日時)	聴取調査の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	調査結果等 ①河川、湖沼	計画地付近に流れる加茂川の野畑井堰での水質は下記の通り。 pH7.5 DO9.7 BOD0.7 SS1 大腸菌群数1.1E+04			
	②海域				
(3)気象・大気質等	調査の方法	「平成19年度三重県環境白書」、津気象台			
	調査結果	気温：平均気温 15.6℃(2008年) 降水量：年降水量 2795mm(2008年) 最多風向：北北西 風速：最大風速 11.3m/s(2008年) 大気質：二酸化硫黄0.006ppm(年平均)、二酸化窒素0.006ppm(年平均)、浮遊粒子状物質0.023mg/m ³ (年平均)、一酸化窒素0.002ppm(年平均)、窒素酸化物0.008ppm(年平均)、光化学オキシダント0.046ppm(昼間の日最高1時間の平均)、メタン1.82ppmC(年平均)、全炭化水素1.92ppmC(年平均)、揮発性有機化合物0.027pg-TEQ/m ³ (年平均) 水質： 騒音：58LAeq(dB) (等価騒音レベル(昼)) 振動：32dB(振動レベル(昼))			
(4)生態系等	文献調査	文献名	三重県レッドデータブック2005等		
	現地調査の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無 (実施日時)	聴取調査の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
	調査結果等 ①植物	植生の概要：計画地区周辺は水田、住宅地、山地が隣接する里山環境である。土地保全図(植生現況図)によると植生はヤブツバキクラス域、植林地・耕作地植生、水田等が混在している。 貴重な植物個体： ・三重県レッドデータブック2005 ヨシノボリ(EN)、ツゲ(NU) オミズコケ(VU)、ヌスビトハネ(VU) ・レッドデータブック近畿2001 ヨシノボリ(絶滅危惧C)、アホシ(準絶滅危惧(植物)) ツゲ(絶滅危惧C)、ヌスビトハネ(絶滅危惧C) ・レッドリスト(環境省) ヨシノボリ(準絶滅危惧(N))			

	②動物	<p>動物相の概要：計画地周辺ではタヌキ等の生息が確認される。</p> <p>貴重な動物： ・三重県レッドデータブック2005 ヌミシメ(NT)</p>
--	-----	--

(5)自然景観・文化財等	文献調査	文献名	篠本遺跡			
	現地調査の有無	有 <input checked="" type="radio"/> ・ 無 (実施日時2008年10月6日)		聴取調査の有無	有 ・ 無 <input checked="" type="radio"/>	
	調査結果等 ①自然景観	<p>自然景観の概要：</p> <p>貴重な自然景観：</p>				
	②文化財、史跡、名勝等	<p>史跡・名勝・天然記念物：無し</p> <p>埋蔵文化財包蔵地：無し 平成20年10月6日 埋蔵文化財範囲確認調査済</p>				
③野外レクリエーション 他						
(8)その他、自然災害等						

4-2 事業計画の検討内容（複数案比較が実施できない場合）

複数案比較が実施できない理由	用地買収の際、当該計画地以外の土地においては、鳥羽警察署新築の適地としての妥当性が見いだせないため
----------------	---

※環境配慮事項ごとに、環境配慮度を◎○ーで記入し、その配慮の内容及び配慮度の評価の理由を記入すること。

環境配慮技術指針の配慮目標 ①循環を基調とした持続的発展が可能な社会の構築 ②人と自然が共にある環境の保全 ③やすらぎと潤いのある快適な環境の創造	環境配慮度 ◎：十分配慮している。 ○：配慮している。 -：特に配慮する必要がない。
--	---

技術指針に基づく環境配慮事項	環境配慮度	環境配慮の内容 (一の場合は、無記入でも可)	配慮度の評価の理由
①-1 地球温暖化防止	○	熱負荷を軽減する建築的な取り組みを実施するとともに、空調熱源をすべて電気とする。	CO2排出量の削減
①-2 廃棄物対策	-		
①-3 生活環境の保全	○	3階建て庁舎棟は、計画地のほぼ中央に配置し、近隣への日影の影響を最小限とする。	田畑への日照確保
①-4 その他重点事項	-		
②-1 野生生物等の生育空間の確保	-		
②-2 希少な野生生物の保護	-		
②-3 地形、地質等の改変の抑止	○	計画地内に雨水流出抑制のための駐車場表面貯留700m3を確保	周辺田畑へ流出する雨水排水量を抑制
②-4 その他重点事項	-		
③-1 緑化、周辺景観との調和	○	国道167号線沿いに植栽帯を設置	鳥羽と志摩をつなぐ幹線道路沿いに潤いのある景観を形成
③-2 親水等、ふれあい空間づくり	-		
③-3 その他重点事項	-		
④上記以外の特記事項	○	伊勢志摩国立公園普通地域における建物形態・色彩への配慮	

5-2 事業計画案の環境配慮に係る評価

従来の事業等と比較して優れている点	熱源をすべて電気式とし、クリーンな警察庁舎の実現をめざした。
今後の課題	敷地内の緑化
会議での調整を要する事柄	特になし